



菅島小学校で理科実験！

7月28日、菅島小学校学校運営協議会の主催で地域おこし協力隊の横尾さんが講師となり、『島の泥と雑草からメタンガスを発生させる実験』と『ペットボトルのキャップからガソリンに近い液体をつくる実験』が行われました。

島にあるものや流れ着くゴミに、再利用する手段があることを知ってほしいと企画され、子どもたちは「プラスチックからオイルができるなんて知らなかった」と、実験の様子に目を輝かせていました。



皇學館大学が鳥羽なかまちを取材

8月1日、鳥羽大庄屋かどやで皇學館大学の学生たちが、地域課題の解決に関する教育プログラム「伊勢志摩共生学実習」での活動について発表しました。

学生たちは鳥羽なかまちで取材をし、学生ならではの視点で、地域活性化の活動や魅力を伝えました。

魚寅の杉田さんは「自分の店のことを記事にさせていただいてうれしい」と話し、皇學館大学の杉崎さんは「取材したことで気づいた鳥羽なかまちの魅力を広めていきたい」と話しました。

学生の記事は、ホームページ「とばる」のとばるマガジンで順次公開しています。



「とばの火」をパラリンピックへ！

8月15日、相差町の相差かまどで株式会社アスリードプラス五っぽと海女による火おこしと採火が行われました。東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの一環で、障がい者のかたと海女が共同で火をおこして採火された火は『とばの火』として送り出され、東京へ集められて聖火となりました。参加者のかたは「火がつけられて良かった」「この火をつないで、みんないい成績を取ってほしい」と話してくれました。



相差で発酵料理教室開催！

7月27日、相差女性等活動拠点施設で魚食普及を目的とした『是友麻希の大人の料理教室』が開催されました。

この教室では、発酵ライフ推進協会の是友さんから発酵食やその活用方法について学び、講義後は発酵レシピで作った海鮮丼と鯛のアラ汁を味わいました。

参加者のかたは「塩麴は買うものだと思っていたが今度作ってみたい」と話してくれました。